

田原市博物館
夏の企画展



「てんとう虫の歌」 小学館
[小学五年生]、[小学六年生]1974年頃



川崎のぼる

汗と涙と笑いとく展

2016年

7月9日(土) ↓ 9月4日(日)

開館時間 午前9時〜午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

※ただし7/18(月)祝は開館し、7/19(火)は休館します。

入場料 500円(400円)、小・中学生無料

()は20人以上の団体料金。

7/9(土) 展覧会初日は午前10時30分開催の開会式終了後、無料公開。

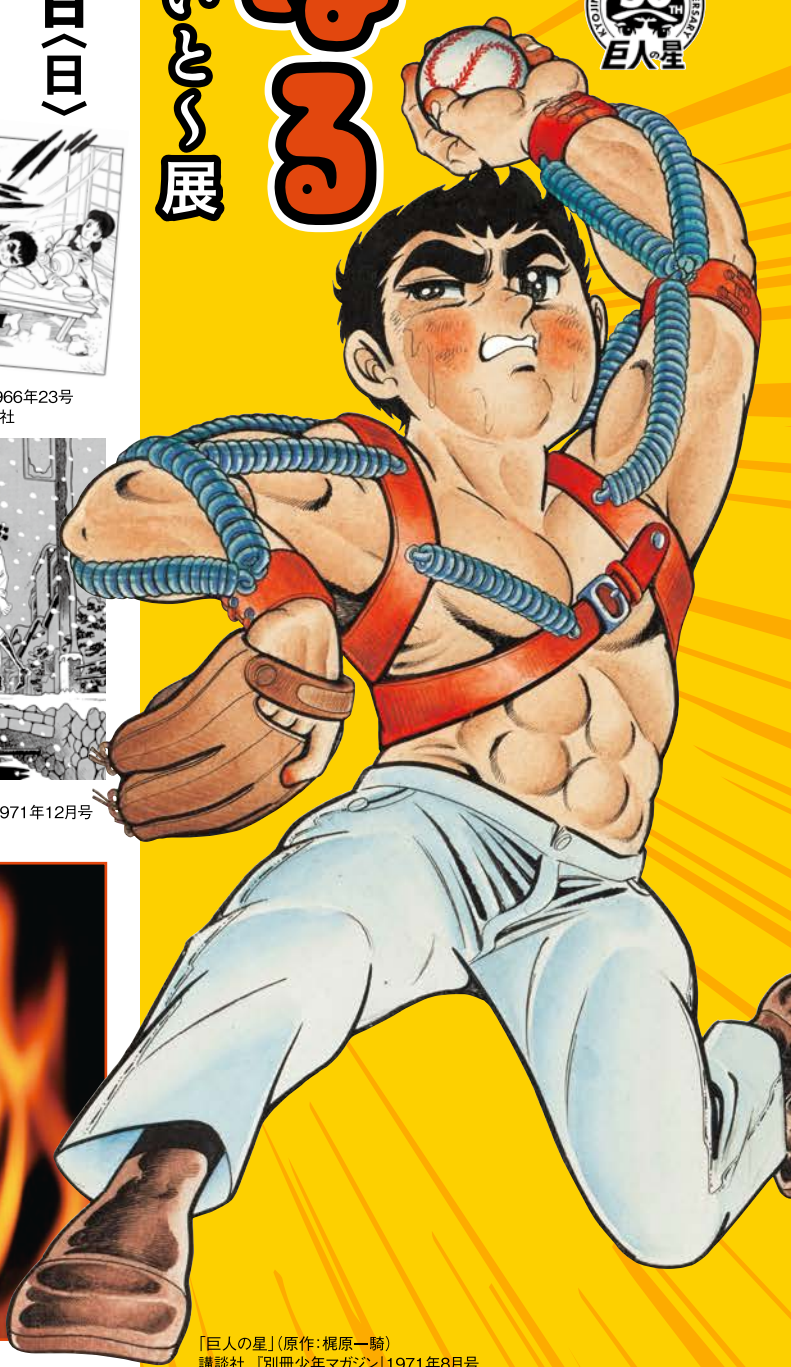
主催 田原市博物館、中日新聞社 後援 愛知県教育委員会



「巨人の星」(原作:梶原一騎)
講談社「週刊少年マガジン」1966年23号
©梶原一騎・川崎のぼる/講談社



「いなかつべ大将」 小学館
[小学五年生]、[小学六年生]1971年12月号



「巨人の星」(原作:梶原一騎)
講談社「別冊少年マガジン」1971年8月号
©梶原一騎・川崎のぼる/講談社

1966年、「巨人の星」の連載が『週刊少年マガジン』で開始された。梶原一騎が原作を書いた父と子の相克を軸にした野球マンガは、少年誌で実力を発揮し始めた若手漫画家・川崎のぼるが作画を担当し、努力と根性によって弱者が強者に打ち勝つという日本の高度経済成長期における価値観と合致したことから、瞬く間に人気マンガへと成長する。

「巨人の星」(1966〜71年連載)では劇画で培ったシリアスかつ実験的な描写に筆をふるった川崎だが、翌年には「いなかつべ大将」(小学一年生)〜「小学六年生」(1967〜70年代前半連載)で、新たに笑いの側面を開花させる。その後

も「荒野の少年イサム」(原作:山川惣治)、『週刊少年ジャンプ』1971〜74年連載、「てんとう虫の歌」(小学一年生)〜「小学六年生」(1973〜75年連載)など、アクションや家族愛まで様々な作品を世に送り出し、70年代末からは青年誌にも活動の場を広げ、幅広い題材を描き分ける確かな技術は今なお高く評価されている。

本展覧会では、大阪で資本漫画家としてデビューした初期の作品から、上京と前後して劇作家たちと交流した青春時代、スポーツや西部劇をテーマとし、アニメ化もされた作品など、戦後マンガ史と共に歩み、現在は熊本に拠点を移した川崎のぼるの約60年にわたる画業をふりかえる。

関連行事

「トークショー」

7月9日(土) 午前11時〜

川崎のぼる、ビッグ錠(佃竜二)、南波健二 ※入場無料

〔展示解説〕

7月24日(日)・8月21日(日)

いずれも午前11時〜

講師:田原市博物館 副館長

鈴木利昌 ※要入場券

「渡辺華山名品選」

特別展示室

重要文化財渡辺華山筆・孔子像
馬図(絵馬) など

同時開催

同時開催 |

渥美窯

愛知やきものヒストリー

2016連携展示

炎からうみだされた造形

会期/2016年

7月9日(土) → 9月25日(日)

観覧無料

会場/田原市博物館 **二ノ丸櫓**
主催/田原市教育委員会・田原市博物館

展示解説 |
8月6日(土) 午後2時〜
講師/田原市教育委員会
学芸員 清水俊輝

田原市博物館 ☎22-1720 <http://www.taharamuseum.gr.jp>